

題材名「安乎を調べる」

目 標

本校では「生きる力の育成」を全体目標に、「社会の変化に応じた情報収集能力および情報活用能力を高め、自己学習能力を育成する」として、総合的な学習の時間を3年間を通して積み上げている。

1年では、「コンピュータに触れる」ことを目標にワードやIE、ペイントショップ、パワーポイントを利用して1学期には「自己紹介」、2学期にはトライやるウィークの事前学習として「職業調べ」、3学期には『安乎を調べよう』をテーマに「研究発表」などに取り組んでいる。

2年では、「コンピュータの活用能力の育成」を目標に、1学期にはトライやる・ウィークに向けての事前学習と、報告会に向けて壁新聞の作成やプレゼンテーションで「実践発表」の事後学習を行っている。また、2学期には「修学旅行の事前学習の一環」として、縦割り班での校外学習の「見学地情報の収集」や「行動計画の作成」を3年生の指導のもとに実施している。さらに、3学期には「発表会」に向けて「修学旅行の事前学習」として修学旅行先の自然・産業・歴史・文化・見学地情報などの調べ学習に取り組んでいる。

3年では、1学期に修学旅行の「班別行動計画の作成」と体験の発表として「壁新聞の作成」をし、2学期には課題設定と問題意識の育成と総合的な学習の時間の総まとめとして「卒業論文」発表会を行っている。

コンピュータを活用する利点

インターネットを利用することで校外学習や修学旅行に必要な最新の情報を収集できる。また、デジカメで撮影した写真も雑誌や本のデータもデジタル化でき、各種ソフトウェアを利用することで収集した情報を容易に編集できる。情報を生徒が独自に、そして創意工夫を生かして文書にもプレゼンテーションにも簡単に利用できる強みがある。発表に際しても、原稿の手直しが何度も可能であるし、準備物も少なくすむ。

また、過去の作品群を電子データとして残しておく場所もとらないし、データベースとして活用することも容易である。本校では、授業の初めに、先輩のプレゼンテーションなどを見てイメージ作りをし、制作に入っている。

授業の流れ

オリエンテーション

テーマの決定
役割分担

ICT 活用場面

本校では、1年生はプレゼンテーションの練習を兼ね、「安乎を調べる」というテーマで調査研究活動を行っている。オリエンテーションでは、卒業した先輩たちが行ったプレゼンテーションを参考に、自分たちのテーマを決め、発表内容を考えた。本年度のテ



トライやる報告会



修学旅行の壁新聞

調査・取材活動の決定

- ・調査の方法
- ・取材先と取材内容

取材先への予約

調査・取材活動

- ・インタビュー
- ・写真撮影

調査・取材活動の

まとめ

原稿作成

- 発表原稿作成
- プレゼンテーション作成

発表会

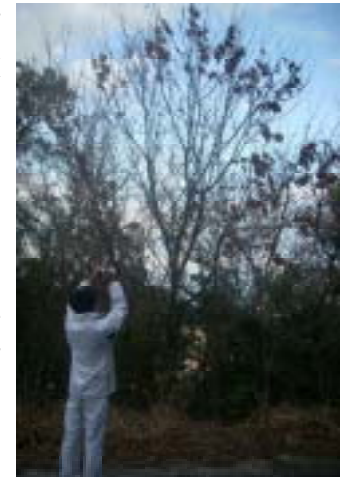
ーマは、『自然(植物と昆虫)』と『歴史(地名・水軍と城・祭)』である。

調査・取材活動は、地元の山や地元の古老・知識人宅につてを頼り、デジカメ持参で行った。これは、プレゼンテーションをすることを前提に耳からの情報(発表原稿のもとになる文字やことばの情報)だけでなく、目からの情報(プレゼンテーションの素材となる表やグラフ、写真や絵、文献またはそのコピー)を収集するためである。

調査・取材活動を終えた後、収集した情報はすべてワードで所定の様式にまとめた。そして、それらを元に「ふるさと文化いきいき教室」の原稿を作成する。さらに、発表会のプレゼンテーションと発表原稿づくりを並行して行う。3学期末に全校生を前に行う総合学習発表会を予定している。



取材の様子



現地調査の様子

成果と課題

本校の総合的な学習の時間では、1年生からコンピュータを使用している。1年生ではたどたどしく使っていても、2年、3年と学年が進むにつれ、多少の程度の差はあれ、全員ある程度パソコンが使いこなせるようになっていく。それは、下級生は上級生の発表にふれることで、自分のやっていくことを知り、学び、上級生は下級生の発表に刺激を受けていくという流れができていくからでもある。もちろん、パソコンの利用は、個人個人の創意工夫を生かす道具として、思考を助ける道具として、文書を練る道具として、発表を助ける手段としてである。



プレゼンテーション作成の様子

課題としては、調べ学習を行う際、教師が用意する以外に生徒自ら書籍等を探し出して調べることがないということがあげられる。簡単に調べられるということで、安易にインターネットを用いてしまっている。また、その情報の真偽や内容を確認めずに鵜呑みにすることもまま見られることがあげられる。

ICT 活用環境等

使用周辺機器	プリンタ、スクリーン、プロジェクタ、スピーカ、デジカメ
使用ソフト	ワード、パワーポイント、(ペイントショップ)
使用教室	コンピュータールーム